

プールのあり方の検討方式の比較表

検討方式	プールを整備・維持していく	すべての学校の水泳授業を民間施設で実施する	民間施設を活用しながら、プールの統廃合を行い最低限のプールを建設する
条件	<div>築60年を迎えた学校プール又は大きな設備投資を伴う修繕が発生した学校プールから、順次プール施設の建替えを行う。</div> <div>・スポーツ開放は原則続けていく。</div> <div>・現在プールが無い学校は計画的に建設する。</div> <div>・建替えの規模は2 5 mプール(緑陽小学校プール)を基準とする。</div>	<div>築60年を迎えた学校プール又は大きな設備投資を伴う修繕が発生した学校プールから、順次民間施設で実施する。</div> <div>・スポーツ開放は順次廃止する。</div>	<div>築60年を迎えた学校プール又は大きな設備投資を伴う修繕が発生した学校プールから、既存の学校との統廃合又は、民間施設を利用する。</div> <div>・スポーツ開放は縮小する。</div> <div>・建替えの規模は2 5 mプール(緑陽小学校プール)を基準とする。</div>
方針に沿った場合の想定経費(60年間の経費)	<div>約 59億400万円</div> <div>【内訳】</div> <div>・プール建替え費用 約 27億円 (1校 約 150,000千円 × 18校)</div> <div>・既設プール撤去費用 約 1億8,000万円 (1校 約 12,000千円 × 15校)</div> <div>・修繕費用(濾過器更新、プール槽) 約 2億1,600万円 (1校 約 12,000千円 × 18校)</div> <div>・維持管理経費 約 28億800万円 (1校 約 2,600千円 × 18校 × 60年)</div>	<div>約 47億3,800万円</div> <div>【内訳】</div> <div>・民間委託費 約 47億3,800万円 (各学校の児童生徒数で試算)</div> <div>【参考】</div> <div>民間施設の受け入れ限度 805回</div> <div>・小中学校学級数 370学級 授業回数 5回(1回2時限) 授業実施回数 925回(2学級合同実施)</div> <div>・民間施設実施可能日数 115日(5月～11月を想定) 115日×2回×3.5施設＝805回</div> <div>※現状では施設が不足している</div>	<div>約 36億6,600万円</div> <div>【内訳】</div> <div>・プール建替え費用 約 9億円 (1校 約 150,000千円 × 6校)</div> <div>・既設プール撤去費用 約 1億8,000万円 (1校 約 12,000千円 × 15校)</div> <div>・修繕費用(濾過器更新、プール槽) 約 7,200万円 (1校 約 12,000千円 × 6校)</div> <div>・維持管理経費 約 9億3,600万円 (1校 約 2,600千円 × 6校 × 60年)</div> <div>・民間委託費 約 15億7,800万円 (残すプールを6校として委託した場合の全体額で試算) (4,734,000千円×6/18校)</div>
メリット	<div>・各学校にそれぞれプールがあることで、授業時間を最大限確保できる。</div> <div>・児童生徒にとって、移動の負担が無い。</div> <div>・スポーツ開放が可能である</div>	<div>・プールの建設が不要なため費用が比較的抑えられる。</div> <div>・全児童生徒が専門インストラクターの指導を受けられるため、泳力向上に繋がる。</div> <div>・温水プールのため、児童生徒が快適に授業を受けられる。</div> <div>・天候に左右されることなく授業が行える</div> <div>・教員の維持管理の負担がなくなる</div>	<div>・費用が比較的抑えられる。</div> <div>・移動時間が極力抑えられる。</div> <div>・最低限のスポーツ開放が可能である</div> <div>・民間施設が廃止となった場合に緊急的に水泳授業を実施することができる</div>
デメリット	<div>・プール建設費用が必要となる</div> <div>・天候により授業が予定どおり行えないことがある</div> <div>・教員の維持管理の負担が残る</div>	<div>・児童生徒の移動の負担が発生する。</div> <div>・民間施設から遠い学校もあり、授業時間が短くなる</div> <div>・現状ではすべての学校を民間施設で受け入れることが困難</div> <div>・民間施設が廃止となった場合に水泳授業が実施できなくなる</div> <div>・スポーツ開放ができなくなる</div>	<div>・学校にプールがある学校に比べ、プールが無い学校で授業時間が多少減少する。</div> <div>・専門インストラクターの指導を受けられる学校と受けられない学校で格差が出る。</div> <div>・教員の維持管理の負担が一部残る</div> <div>・プール建設費用が一部必要となる</div>